

大学生生活経験のゆらぎと構造化

—1年次生3地点縦断調査の質的検討—

山田 剛史

(島根大学 教育開発センター)

【問題と目的】 筆者は大学生の自己形成現象を彼らの生活経験とその意味付与の観点から捉え検討を行ってきている(cf.山田,2004). 他にも, 大学生の生活経験に関する調査には, 大学生協が主体の学生生活実態調査(学調)や, 武内ら(2003,2005)の大学横断的な調査等が存在する. しかし, 学業や部活といった個別領域の個別的な検討はなされているものの, 個々の領域間の力動関係や個人内変化について検討されているものはほとんど見当たらない. 当然ながら大学生は様々な生活経験を有しており, それらは単独で機能しているというよりも相互に関連し合いながらその都度構造化され, その不安定な足場の上で「私」が構成されている. “一方に重きを置けば他方に支障を来す” “色々手を出せば結果何も身につかない” といった現象は現に存在するし, その狭間で大学生は悩み苦しみながら生きている. 本報告では, そうした大学生生活経験のゆらぎと構造化の問題を捉えることを目的とする.

【方法】 **対象者:** 近畿圏内の私立大学1年生50名中, 3回の調査全てに回答している23名(男性15名, 女性8名). **調査時期:** 第1回2005年4月12日(前期初講時), 第2回2005年7月5日(前期終了1週前), 第3回2006年1月24日(後期最終講時)の計3回. **調査用紙の構成:** 《一貫項目》①大学生生活経験(1.大学での授業, 2.授業以外の学習, 3.クラブ・サークル, 4.アルバイト, 5.遊び・友人関係, 6.趣味)に対する4段階の重要度評定と選択理由, ②白井(1994)の時間的展望体験尺度から現在充実感5項目(5件法), ③下山(1986)の職業未決定尺度から各因子4項目計24項目. 《各回独自項目》a.(第1回)中学・高校時代の学習態度に関する評定, b.(第2回)入学後3ヶ月間の生活上の変化に関する評定とその具体的内容に関する自由記述, c.(第3回)1年間全体の満足度に関する評定(4件法)と選定理由. 本報告では下線部を中心に検討を行う.

【結果と考察】 1. **重要活動の量的変遷** 少数だが重要活動の量的変遷をみると, 「1.大学での授業」が14名(60.8%)→9名(39.1%)→6名(26.0%)と月日を追うごとに減少し, 一方「4.アルバイト」が3名(13.0%)→7名(30.4%)→11名(47.8%)と増加している. そして「5.遊び・友人関係」が13名(56.5%)→16名(69.5%)→16名(69.5%)と一貫して高い値を示している. 勉強面に関して, 2005年度(第41回)の学調においても, 大学生生活の重点を勉強に置いている者は26.6%と, 2000年度(第36回)の25.1%から若干伸びているものの, 約1/4とさほど高い値ではなく, 授業のみならず大学生生活経験全体を捉える必要がある.

2. **重要活動の変遷に伴うゆらぎと構造化** 大学生生活経験への重心の置き所の変化を, 授業からの離脱をめぐる2名の学生に焦点を当てて検討を行う(Table). いずれの学生も入学時点では, 授業を将来との継続関係から重要であると判断しているが, 最終的には社会経験の場としてアルバイトを, 自己の成長要件として友人関係を重要であると判断し, 大学生生活経験と自己の関係に変化がみられている. 一方, 全体満足度は両者とも低く, 上段の学生は勉強不足に, 下段の学生はやりたいことが見つからないことに帰属させている. 勉強を離れることで勉強の重要性が再認識されたりする. また, 下段の学生のように, 最終的に活動自体の幅に多様性がみられるものの, 充実感は激減していることから, 色々やればいいというものでもなく, それらを自己の中で位置づける指針が必要であったりするのである.

Table 大学生生活経験と意味づけの変遷および充実・満足度(上段と下段で2名選出)

第1回	第2回	第3回	全体満足
1.授業 (17)	6.趣味 (17)	4.バイト/5.友人関係 (16)	2.あまり満足していない
ここでの勉強は, 私にとって将来への仕事の力や知識を身につけさせてくれるものだと思うから.	1つの事に打ち込める物があるというのは, とても素晴らしい事だと思うし, 大切な事だと思うから.	アルバイトは社会に出て行くための準備期間. 友人関係は, とても大切. 一人では何も出来ないし, 助け合いが必要.	もう少し大学以外の場で, 本を読んだり, 勉強したり出来たんじゃないかな, と思いました.
1.授業/5.友人関係 (20)	5.友人関係 (15)	2.授業外学習/4.バイト 5.友人関係 (9)	2.あまり満足していない
将来に関わってくることやから, 授業は大切! 友達はおらんかったらさびしいし, 一緒にあったらすごい楽しいから.	友達は, 他の何にも変えられへんし, とても大切な存在だから.	授業だけじゃなく, 資格なども取っておいたら自分のために役立ち, アルバイトも社会勉強の場としては必要. 友達も自分を成長させてくれたり, 支えとなるので, とても大切.	あまり, 充実したと言える1年ではなかった. やりたいことが分からずに, フラフラしてたと思う.

注)カッコ内の数値は, 「現在充実感」得点(range5-25).

(YAMADA, Tsuyoshi)